

真宗門徒の皆さん

き きょうしき

帰敬式 (おかみそり)

を受けましょう

仏さまの教え
—南無阿弥陀仏—
を依りどころとして生きる者とな
る儀式が帰敬式です。

法名は、決して
死後の名前ではありません。



事前研修会

<受式者対象の事前研修会を開催いたします。どちらかに必ずご参加ください>

第一回目

日時 2023年10月20日 (金) 13時~15時
会場 高山別院 本堂
講師 三木 朋哉氏 (益田組浄福寺住職)
持ち物 念珠、勤行本、筆記用具

第二回目

日時 2023年10月22日 (日) 13時~15時
会場 高山別院 本堂
講師 夏野 了氏 (清見組満成寺住職)
持ち物 念珠、勤行本、筆記用具

帰敬式

日時 2023年11月3日 (金・祝) 午前9時半~11時半

受付開始：午前8時半 (9時10分までに受付をお済ませください)

会場 高山別院 本堂

お礼金 13,000円 (20歳以下は6,000円)

持ち物 念珠

服装 特に決まりはありませんが、男性の方はネクタイ着用をお願いします。

10月の別院での事前学習とは別に、所属のお寺や組、別院から聞法学習の場のご案内をさせていただきますことでもありますので、出来るだけご参加ください。

申し込み方法

※お手次のお寺へ、お礼金を添えてお申し込みください。

締め切り 2023年9月30日 (土)

人生の新たなスタートとして、 「帰敬式」を受けましょう。

帰敬式は「おかみそり」とも言われ、「仏（仏さま）・法（教え）・僧（同朋）」の三宝に帰依し、真宗門徒として新たな人生を歩み出すことを誓う大切な儀式です。そこには、欲望追求の自我中心の生き方から「本尊」（南無阿弥陀仏）を中心とする生き方への転換の意義があります。

帰敬式では、「三帰依文」（勤行集表紙裏）を唱和し、剃刀の儀（おかみそり）を受け、仏弟子としての名前である「法名」が授与されます。真宗の伝統のなかにこの身を受けた一人ひとりの、人生の新たなスタートとして、「帰敬式」を受けましょう。

Q 帰敬式は生きているうちに受けるものなのですか？

A 本来、生きているうちに受式するものです。

亡くなってからではなく生きている今、仏さまの弟子となった自覚をもち、生きる依りどころと方向が定まり、聞法生活を送ることが願われています。



サンガくん

Q 法名って何ですか？

A 釈迦・諸仏の弟子となった


仏弟子としての名前です。

帰敬式を受けると新たに「釈〇〇」という法名をいただき、その名を名告ります。それは出家をして戒律を保つ者の戒名とは違い、在家のままで仏さまの教えをいただいて生きていく者（仏弟子）の名告りです。

Q 髪の毛は本当に剃るのですか？

A かみそりをあてるだけです。剃りません。

人間には、他人に勝ちたい心（勝他）・お金儲けや裕福になりたい心（利養）・いい人と評価されたい心（名聞）があります。その三つの心を髻（もとどり：頭髮を束ねたちよんまげ）にたとえて、それを剃り落とすという意味があります。

 南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

お問い合わせは 高山別院内「飛騨御坊真宗教化センター」

〒506-0857 高山市鉄砲町6 TEL0577-32-0776 FAX0577-32-9552